

「お……ああ……♡
皇女ま●こ……ヤバすぎ……だろ……っ!!」

「う……ぐッ……ぎっ!!
や……つめ……ひぎッ!!」

「こんなの……腰……腰止まら……っ!!
ヤバい……た……種汁上がって……っ!!
種付けっ種付けいくぞアルフィン!!」

「た……種付け……?」
「オレそつくりの赤ちゃん
沢山産ませてやるからな♡」

「あ……かちや……ん……
や……嫌ああアアあああッ!!」

「ふ……いくぞっ種付けいくぞッ!!
オレのガキ産ませるっ絶対に産ませてやるッ!!」

「嫌ッ嫌ああッ誰か誰かああアああッ!!」



「数十分後」

「アルフィンま●こ孕めっ!!
オレそつくりのガキ孕めオラあああっ!!」

「ひらびらぶらぶらぶらウツ♡♡♡」



びゅんびゅん
びゅんびゅん
びゅんびゅん

びゅん♡

「う…オあ…っ!!
し…搾り…取られ…る…♡」
「ぐっん…どっ…ぐっ…♡」
「ま●この痙攣…ヤバい…
お…射精…止まらね…え…♡」

「ふっ♡
ふっ♡
ふっ♡

が♡

が♡

が♡

が♡

が♡

が♡

が♡



「ふいっ…種付けレ●プでいくとか
皇女様がそんな変態とは思わなかったぜ(笑)」

「ち…ひゃ…う…♡」

「やっしそろそろ別の「設定」でハメるとするから♡」

「数時間後」

「ふーは……♡
聖アスの制服もいいが
皇女様はやっぱりコレだよな♡」

「お……オ……あお……♡」

「つか良すぎて……
何発でもやれるわ……♡」

「あ……ア……♡」

「どんなシチュでもプレイ可って
いや〜マジで最高だなこの装置♡」

「た……ひゅ……げて……」

「改良繁栄薬も使ったし
どれだけ孕むか楽しみだな
七つ子くらい頼むぜアルフィン(笑)」

「……いひゃ……らあ……
あか……ひゃ……ん……」

「んじやとりあえずリセットして……」

「+リカバリモード起動します+」

「……おが……っ！」

「アへ声はたっぷり
聞かせてもらったし次は……」

「+設定 ペインモード+」

「痛覚の閾値も最低にしてと……」

「へっっ皇女様の大絶叫楽しませてもらっせ♡」









